

主要事業 1 食育関連事業

食の大切さについて学ぶ機会を設けるとともに、給食に地元産農産物等を使用することで地産地消を推進し、子どもたちの食に対する関心を高め、地元への愛着心の醸成に努めていきます。



主要事業 3 物価高騰対策事業

原油価格の上昇や為替変動、世界情勢に起因する物価高騰に直面する家計、事業活動を下支えすることを目的として、物価高騰等に対する三本柱の事業に取り組みます。「暮らしを支える経済対策推進商品券」を全町民に配布、「十五の春支援事業」として義務教育が終了となる中学校卒業後の準備金となる一人当たり5万円を支給、さらに「水道料金の減免」として口径ごとに基本料金の2分の1を減免します。

主要事業 5 地域おこし協力隊推進事業

地域力の維持・強化に向けた地域資源の発掘、移住及び交流の促進、地域産業の活性化を図るため、【観光推進型】及び【移住定住推進型】の地域おこし協力隊員2名を採用し、観光振興と移住定住の推進に取り組みます。

主要事業 2 教育関連事業

少人数学級の実施や専門性を有した専科教員配置などの教育体制の整備、更には支援員や相談員の配置による、児童・生徒の健全育成のための教育環境の向上に取り組みます。



主要事業 4 観光の魅力づくり事業

「いこいの里大附(そば道場)」「大附みかん山」「弓立山山頂」といった観光スポットが面的に点在するときがわ町大附地区。新たな観光の見どころやコンテンツを整備するとともに、既存の観光資源をさらに磨き上げ、地域住民と新たな地域振興の担い手の協働を促進することで、地域経済の活性化及び観光入込客数の増加を図ります。



主要事業 6 地域エネルギー活用事業

カーボンニュートラル実現を目指す取り組みとして、電気自動車を普及させるインフラ整備のための急速充電器の設置や、クリーンエネルギーの普及促進のための小水力発電システムを整備します。さらに薪ストーブや太陽光発電システムの設置に対しても補助を行うなど、地域エネルギーの活用に取り組みます。

重点施策・主要事業の紹介

令和5年度の主な事業のうち、町民の皆さんの生活に関わりの深い内容をお知らせします。

▶ 重点施策 1 食と教育で選ばれるまちに

町の一番の財産は町民一人ひとりであり、その人づくりの基本は「食」と「教育」です。引き続き、食育に力を注ぎ、教育環境の充実を図ることで、結果的に移住、定住先として選ばれるような町にしていきます。

▶ 重点施策 2 町民自慢の観光のまちに

ときがわ町の特徴のひとつが、町の色彩、高低差などの自然を生かした観光です。その自然を身近な観光として町民一人ひとりが実感し、お気に入りの情報を発信するようになるなど、それぞれが観光案内人として人を呼び込み、活気あふれる町にするための環境を整えていきます。

▶ 重点施策 3 高齢者にやさしいまちに

高齢化が進行する中において、心配されるのはフレイル(虚弱)や心身の健康を害することです。しかし、年齢を重ねても健康に、元気に生活することができれば怖いものではありません。そのためにも、多種多様な高齢者の個々の問題に寄り添ったまちづくりを進めていきます。

▶ 重点施策 4 地域力を生かした安心安全なまちに

昨年7月12日の大雨災害の際にも地域での助け合いが重要な役割を果たしました。こうした助け合いがあることで、安心して住み続けることができます。今、この助け合いをはじめとする地域力が、人口減少や高齢化等により危機に瀕しています。そのため、改めて地域力向上のための取組みに力を入れていきます。

▶ 重点施策 5 人口増加のまちに

ときがわ町は、人口減少を主要因として昨年4月1日に過疎地域として公示されました。それを受けて9月に過疎地域持続的発展計画が策定されました。令和5年度からは、指定による支援措置を最大限に活用し、一日も早く過疎地域から脱却できるよう努力していきます。

▶ 重点施策 6 女性が輝くまちに

女性に限らず全ての人々が、それぞれの特性を活かし、助け合い協力し合う社会を醸成することは社会全体にとって重要なことです。そのため、今以上に女性の社会参加が必要となります。女性、男性という性別に関わらず、全ての人と同じように活躍できるよう取り組んでいきます。

▶ 重点施策 7 SDGs 環境に配慮した持続可能なまちに

昨年12月25日に、ときがわ町、毛呂山町、越生町、東秩父村は共同で「ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明しました。これは、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを目指しています。そして、この恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐために出来ることを精一杯取り組んでいきます。